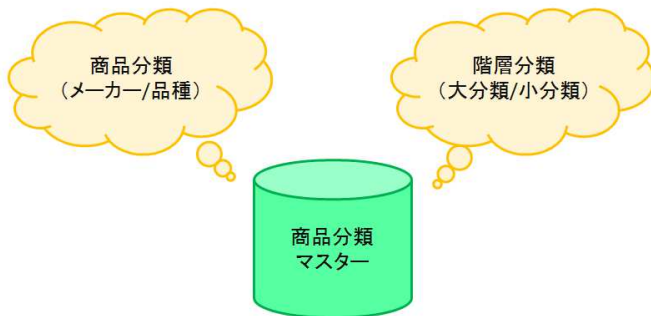


■商品分類の概要について



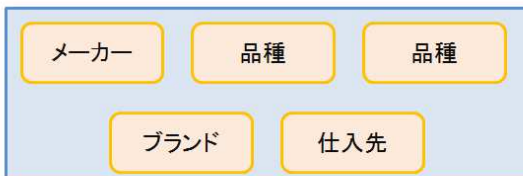
商品分類

例)



メーカー：サイバー
品種：ブレンド茶
ブランド：ナショナルブランド
プライス：100～200円
仕入先：仕入先A

棚パワー茶



それぞれ独立した分類

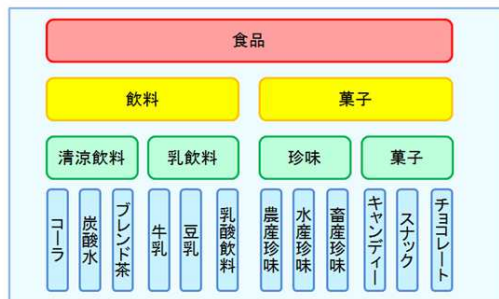
階層分類

例)



大分類：食品
中分類：飲料
小分類：清涼飲料
細分類：ブレンド茶

棚パワー茶



階層ごとに分かれた分類

1. 商品分類マスターには「商品分類」と「階層分類」が存在します。

「商品分類」と「階層分類」では管理方法が異なります。
以下で管理方法の違いを紹介します。

2. 「商品分類」では、メーカーや品種など商品が属する項目を登録します。

左図の商品(棚パワー茶)では、
メーカーを「サイバー」
品種を「ブレンド茶」
ブランドを「ナショナルブランド」
プライスを「100～200円」
仕入先を「仕入先A」として登録しています

それぞれの独立した分類単位ごとに商品へ割り当てて登録する
シンプルな管理体系となります。

3. 「階層分類」は、大分類→中分類→小分類→細分類のように階層ごとに分けて商品が属する項目を登録します。

左図の商品(棚パワー茶)では、
大分類で「食品」
中分類で「飲料」
小分類で「清涼飲料」
細分類で「ブレンド茶」として登録しています。

つまり、大分類では「食品」に属し
食品の中でも「飲料」に属し、
飲料の中でも「清涼飲料」に属し、
清涼飲料の中でも「ブレンド茶」に属する
という階層ごとに分かれた管理体系での登録となります。

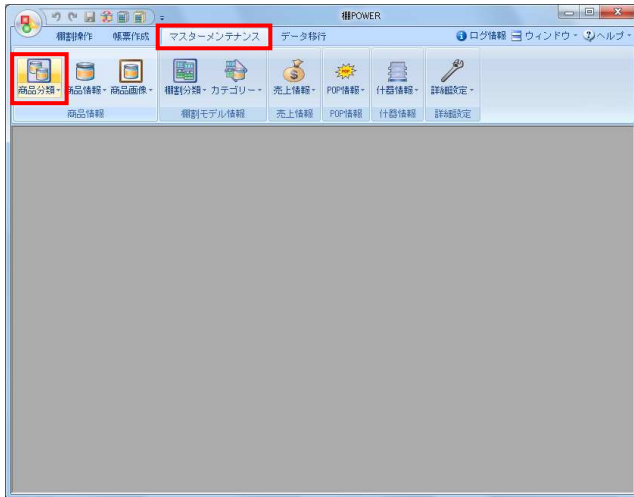
例えば、商品に小分類を登録したい場合、
その上位の階層である大分類や中分類を必ず登録する必要があります。

このように階層ごとに分けて商品分類を管理する場合は、
階層分類を使用します。

4. 階層分類の登録は必須ではありません。
商品分類と階層分類の両方を利用することも可能であり、
どちらか片方だけを利用することも可能です。

社内での分類管理に合わせてご使用ください。
以降は、それぞれの登録手順を紹介します。

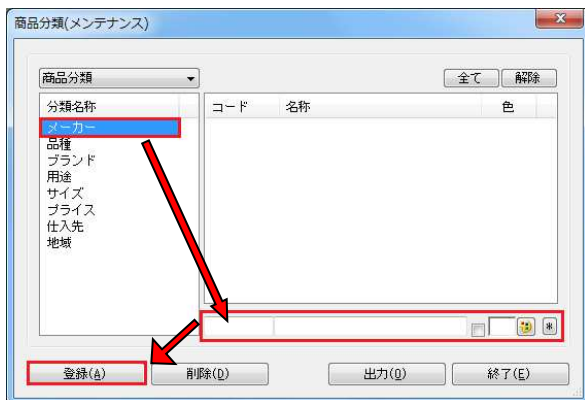
■商品分類の登録



1. 商品分類の登録を行ないます。

商品分類を登録することで棚割作成時に、
 「メーカーや品種を指定して陳列商品を絞り込む」
 「品種ごとの棚割構成比を確認する」
 「分類ごとに色分けした棚割表を作成する」 など
 といった活用ができます。

「マスターメンテナンス」－「商品分類」をクリックします。



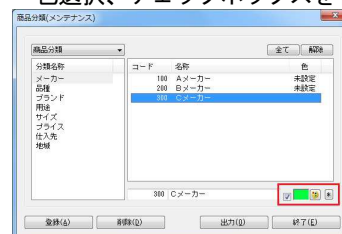
2. 登録する分類名称を選択します。

画面右下のテキストボックスに「コード」と「名称」を入力して「登録」をクリックします。

登録が完了すれば、画面右側の登録一覧に表示されます。

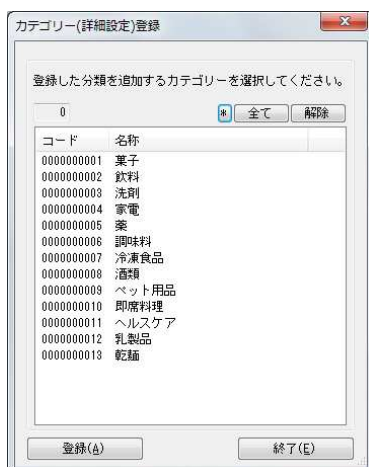
※コードは10桁までの入力が可能です。が、「1」と「01」では別コードでの管理となるためご注意ください。

※必須ではありませんが、分類ごとの色設定も可能です。
 色設定をする場合は、分類登録時に色設定ボタンより色選択、チェックボックスを有効にして登録します。



※「棚POWERボタン」－「その他設定」より、「商品分類登録時、カテゴリーへの登録も行う」を有効にしていると、商品分類登録時に左図「カテゴリー（詳細設定）登録」画面が表示されます。

新規登録した商品分類を含めたいカテゴリーを選択して、「登録」を実行すると、カテゴリーグループにも追加登録することができます。

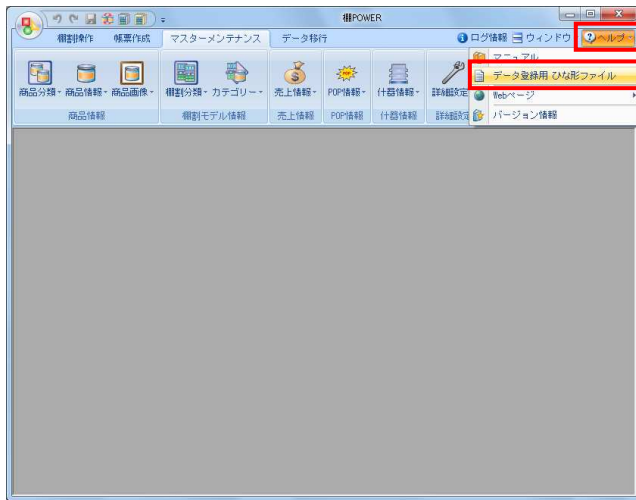




- 登録した分類を削除したい場合は、一覧より削除したい分類を選択して「削除」をクリックします。

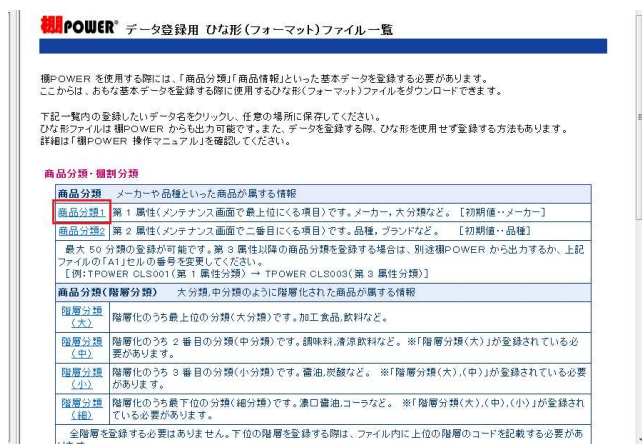
※複数一括で削除したい場合は、Ctrlキーを押しながら削除したいコード・名称を選択して削除を実行します。

■商品分類の一括登録



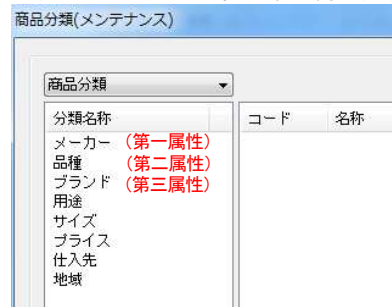
- 商品分類を一括で登録することができます。
登録数が多い場合やExcelを使用して登録する場合などは一括登録を行ないます。

商品分類の一括登録はひな形ファイルを活用します。
[ヘルプ] - [データ登録用ひな形ファイル] をクリックします。



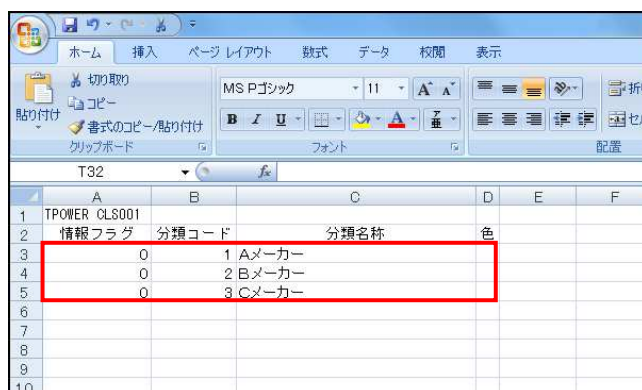
- データ登録用ひな形ファイル一覧が表示します。
第一属性を登録する場合は、「商品分類 1」を選択して、任意の場所に保存します。

属性番号は商品分類のメンテナンス画面から確認できます。
下図のように最上部に表示している商品分類を第一属性とし、以降は上から連番で第二属性、第三属性へと続きます。



- 出力した商品分類のひな形ファイルを開きます。
ファイルの3行目以降に商品分類の「分類コード」と「分類名称」を入力します。

情報フラグを入力する必要があります。
新規登録や更新する際は情報フラグに「0」を入力します。
入力後、上書き保存します。



【情報フラグについて】

情報フラグは「0」か「9」を入力して情報を管理します。
「0」 = 有効情報 / 「9」 = 削除情報

【色の設定について】

一括で分類の色を登録することも可能です。
Excelのバージョンによって色の設定手順は異なります。
(色の設定は必須ではありません)

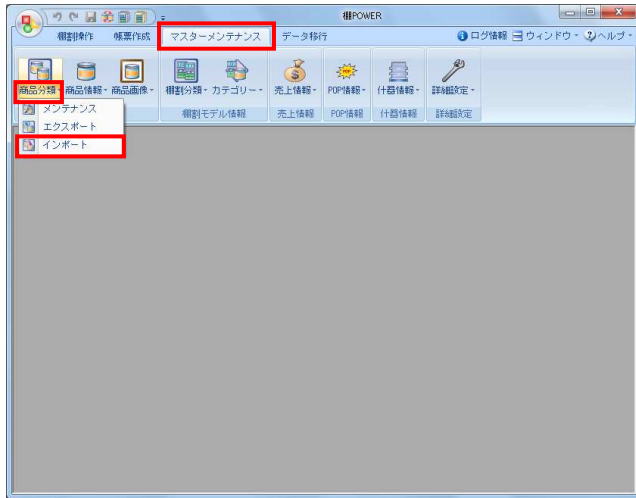
・Excel 2003の場合

色を16進数(Web色)で入力します。

例) 赤…「ff0000」 青…「0000ff」 緑…「008000」

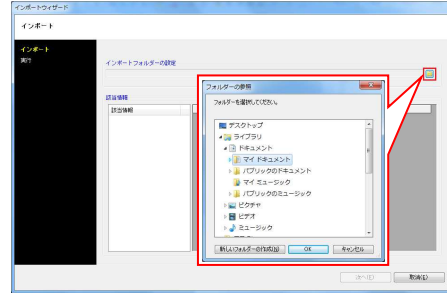
・Excel 2007以上の場合

セルに塗りつぶしの色を設定することで登録できます。
また、16進数(Web色)を入力しての登録も可能です。

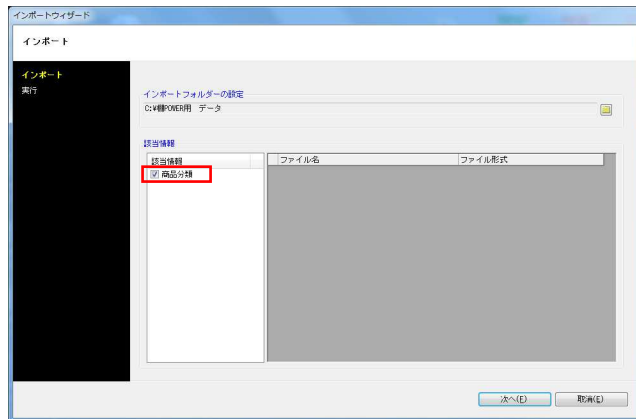


4. 編集したひな形ファイルをインポートします。
[マスターメンテナンス] - [商品分類] - [インポート]
をクリックします。

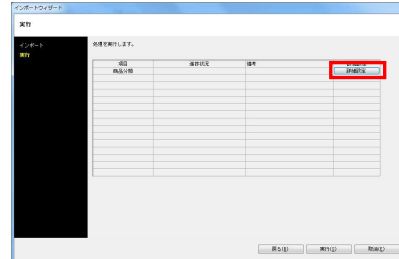
インポートウィザードが開くとフォルダーアイコンを選択してインポートフォルダーの設定を行います。



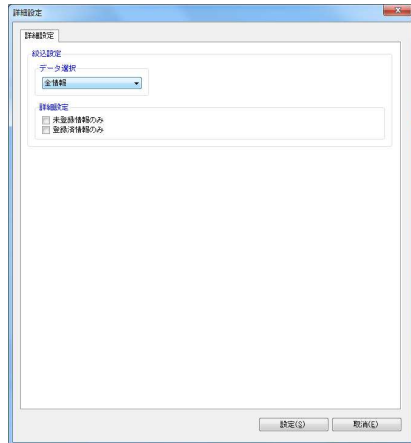
5. インポートフォルダーの設定後、該当情報に「商品分類」が表示したことを確認して[次へ]をクリックします。



次に、商品分類の「詳細設定」をクリックします。



6. 詳細設定で、インポートする時の条件を設定します。
各項目の設定が完了すれば[設定]をクリックします。



【データ選択】

有効情報か削除情報が選択します。
全情報は有効情報と削除情報どちらも対象になります。

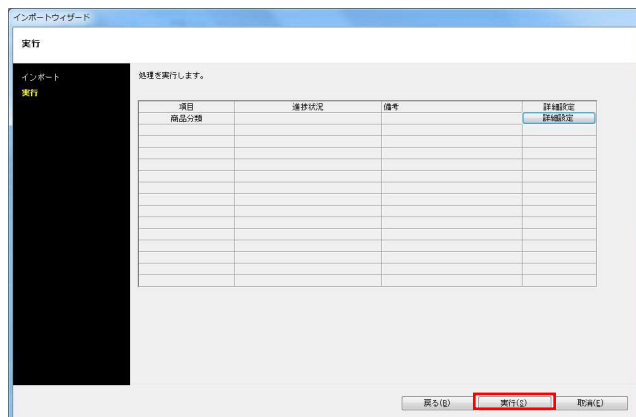
【未登録情報のみ】

棚POWERに登録されていない情報のみ新規登録します。

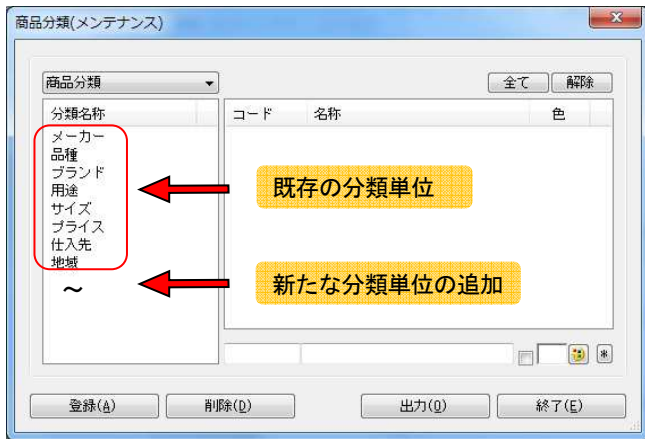
【登録済情報のみ】

棚POWERに登録済の情報のみ更新します。

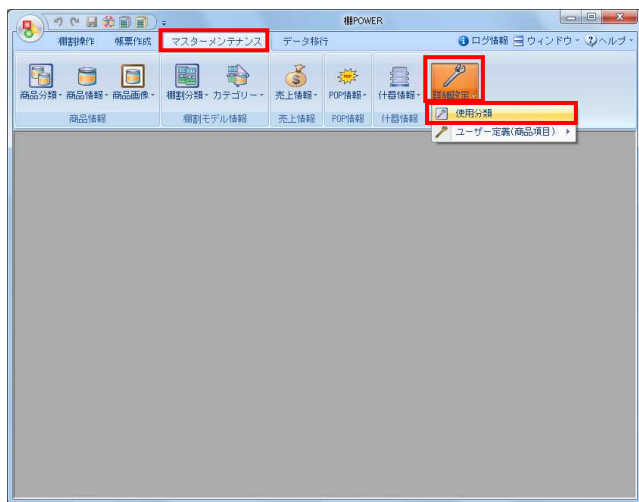
7. [実行] をクリックすると、インポート処理が開始されます。
商品分類が一括で登録されます。



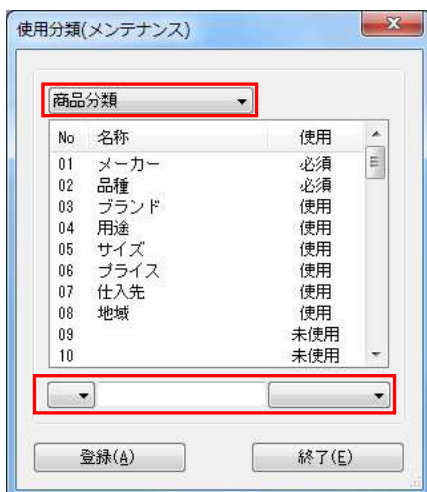
■新たな分類単位の追加(商品分類)



1. 既存の分類単位の名称を変更したり、新しく追加したりすることが可能です。



1. 分類単位の変更や、分類の種類を追加する場合は、
「マスターメンテナンス」－「詳細設定」－「使用分類」をクリックします。



2. 上部のプルダウンメニューより「商品分類」を選択します。

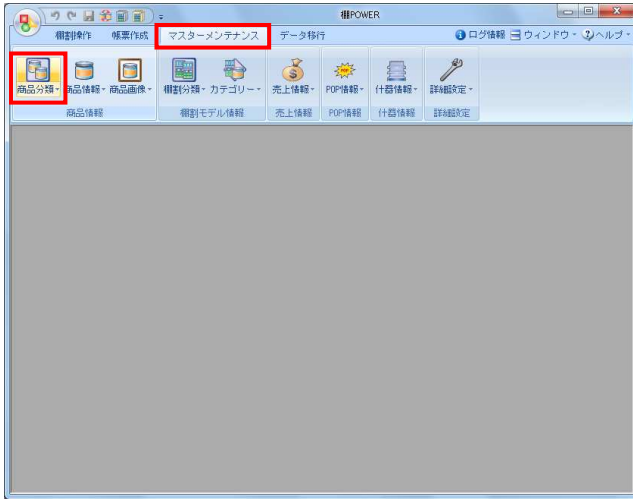
【分類単位の名称を変更したい場合】
変更したい分類をクリックして、下部のテキストボックスに分類名称を入力して「登録」をクリックします。

【商品分類の種類を追加したい場合】
未使用になっている分類Noをクリックして名称を入力します。テキストボックス右側にあるプルダウンメニューで「使用」を選択して「登録」をクリックします。

登録後は商品分類のメンテナンス画面に反映されます。

※既存の分類単位の名称を変更した場合、
紐付いていた各分類は引き継がれます。

■階層分類の登録

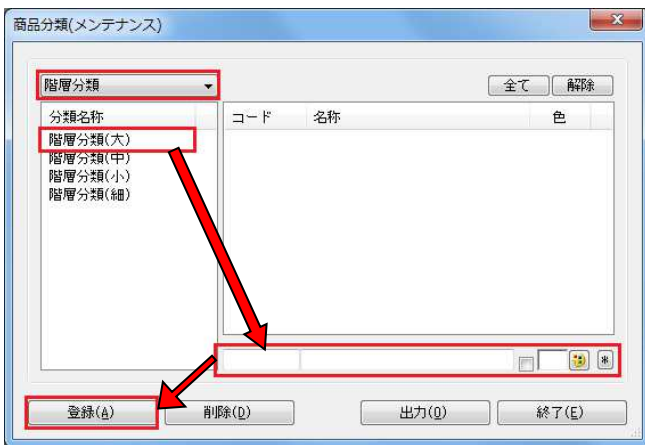


1. 階層分類の登録を行ないます。

階層分類を登録することで、商品登録時に登録商品がどの分類(大分類/中分類 など)に属するのかが設定できます。

「マスターメンテナンス」－「商品分類」をクリックします。

※階層分類の登録は必須ではありません。



2. 画面上部にて「階層分類」を選択します。
次に、登録する分類名称を選択します。

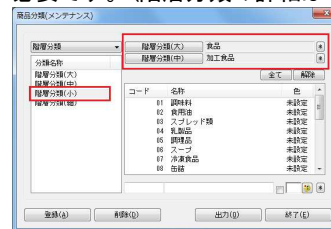
画面右下のテキストボックスに「コード」と「名称」を入力して「登録」をクリックします。

登録が完了すれば、画面右側の登録一覧に表示されます。

階層分類で下位の階層に登録する場合は、上位の階層を登録しておく必要があります。

例えば、階層分類（小）の登録をする場合は、その上位階層である階層分類（大）と階層分類（中）を選択して登録します。

そのため、先に階層分類（大）と階層分類（中）の登録が必要です。(階層分類の詳細はP2を参照ください)

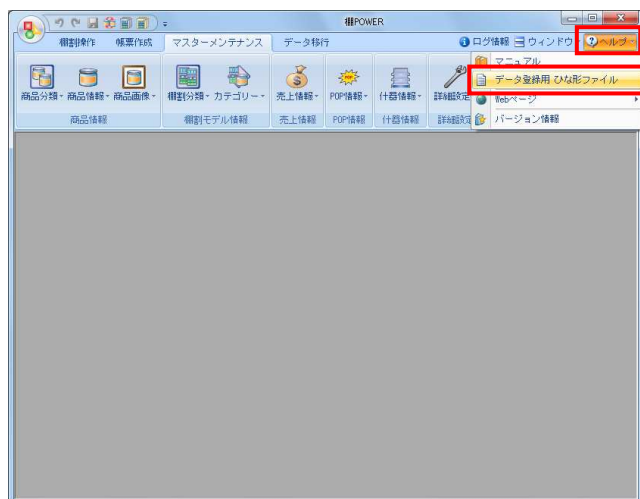


3. 登録した分類を削除したい場合は、一覧より削除したい分類を選択して「削除」をクリックします。

※複数一括で削除したい場合は、ShiftやCtrlキーを押しながら削除したいコード・名称を選択して削除を実行します。

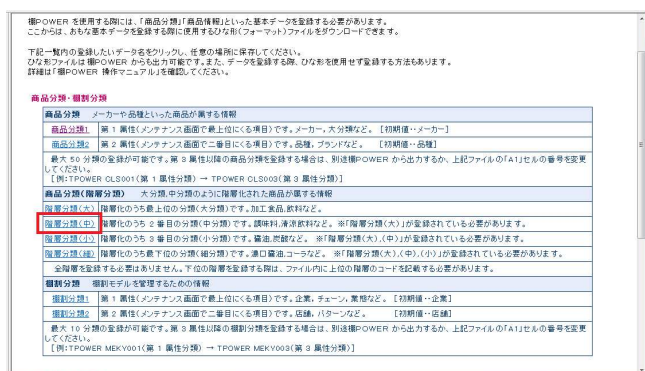


■階層分類の一括登録

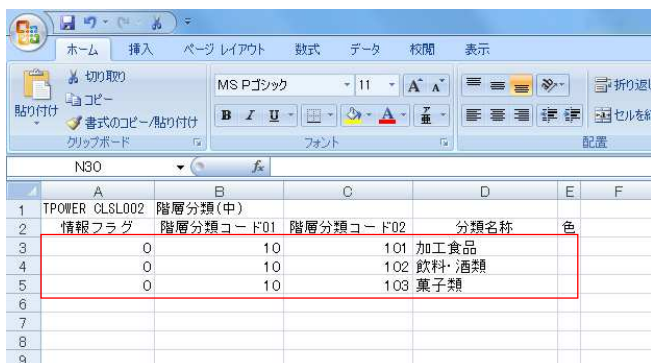


1. 階層分類を一括で登録することができます。
登録数が多い場合やExcelを使用して登録する場合などは一括登録を行ないます。

階層分類の一括登録はひな形ファイルを活用します。
[ヘルプ] - [データ登録用ひな形ファイル] をクリックします。



2. データ登録用ひな形ファイル一覧が表示します。
階層分類(中)を登録する場合は、一覧より「階層分類(中)」を選択して、任意の場所に保存します。



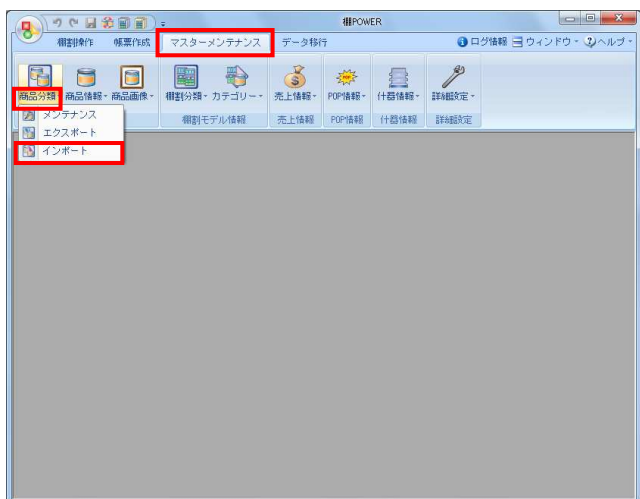
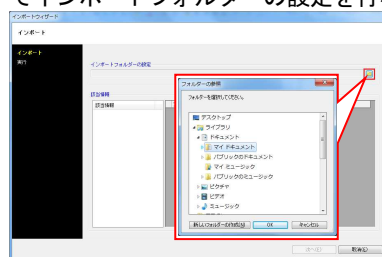
3. 出力した階層分類のひな形ファイルを開きます。
ファイルの3行目以降に階層分類の「分類コード」と「分類名称」を入力します。

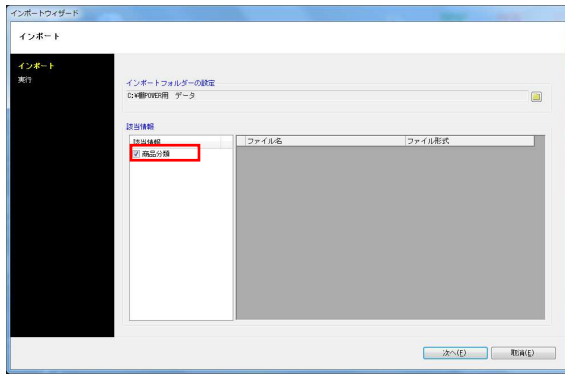
階層分類(中)以下の階層分類を登録する場合は、上位の階層分類コードも入力する必要があります。
各項目の入力後、上書き保存します。

左図のように階層分類(中)を登録する場合、
まず「階層分類コード01」の項目に上位（階層分類(大)）の階層分類コードを入力します。
次に「階層分類コード02」と「分類名称」の項目に階層分類(中)に登録するコードと名称を入力します。

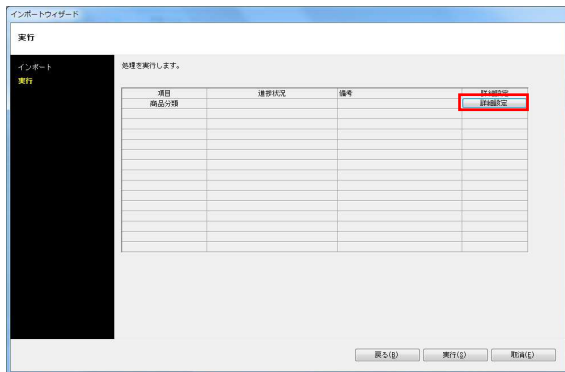
4. 編集したひな形ファイルをインポートします。
[マスターメンテナンス] - [商品分類] - [インポート] をクリックします。

インポートウィザードが開くとフォルダーアイコンを選択してインポートフォルダーの設定を行ないます。

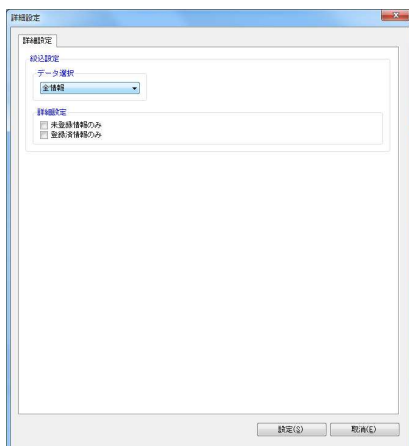




5. インポートフォルダの設定後、該当情報に「商品分類」が表示したことを確認して「次へ」をクリックします。



6. 商品分類の「詳細設定」をクリックします。



7. 詳細設定で、インポートする時の条件を設定します。各項目の設定が完了すれば「設定」をクリックします。

【データ選択】

有効情報が削除情報が選択します。

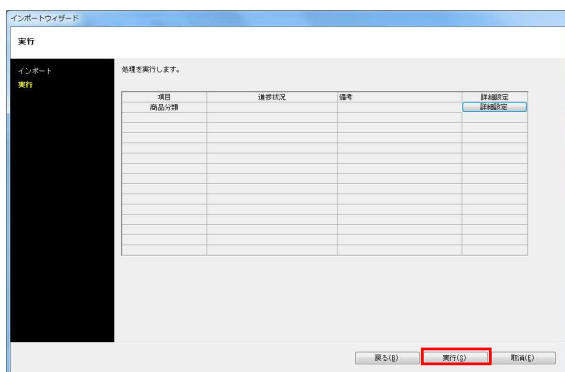
全情報は有効情報と削除情報どちらも対象になります。

【未登録情報のみ】

棚POWERに登録されていない情報のみ新規登録します。

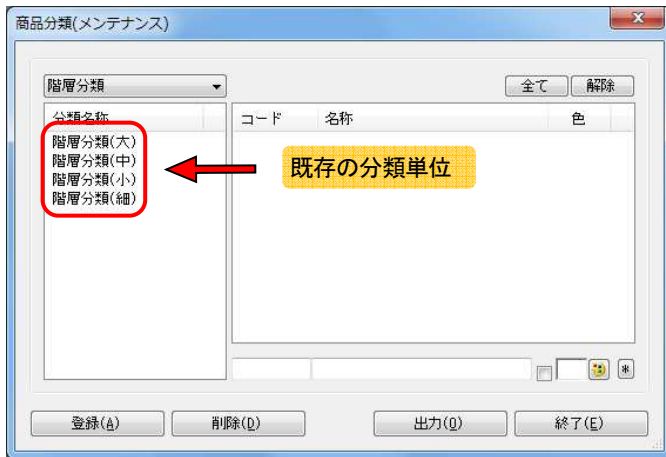
【登録済情報のみ】

棚POWERに登録済の情報のみ更新します。



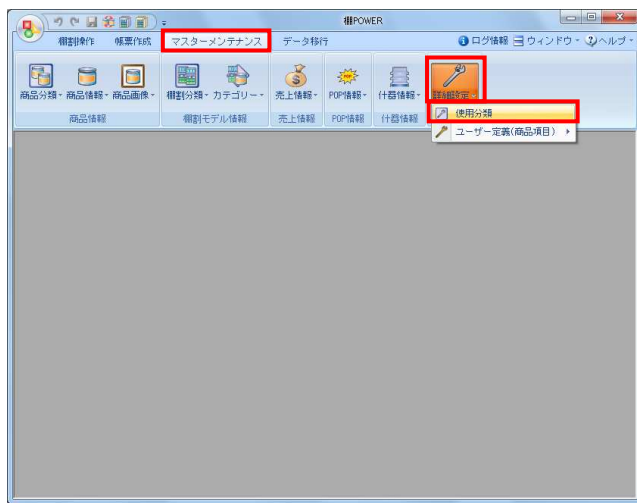
8. 「実行」をクリックすると、インポート処理が開始されます。階層分類が一括で登録されます。

■新たな分類単位の追加(階層分類)

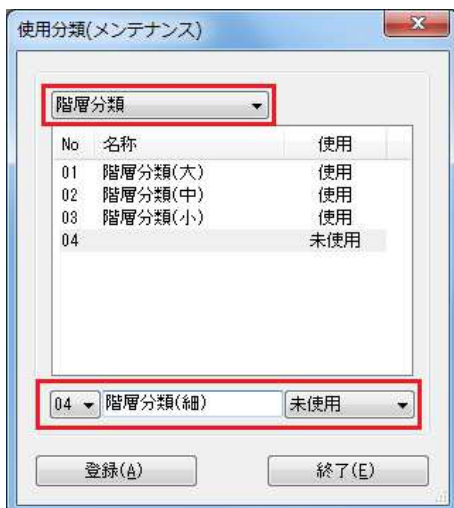


1. 既存の分類単位の名称を変更したり、不要な分類単位を未使用にしたりすることが可能です。

※階層分類は4分類までの使用が上限となります。



2. 「マスターメンテナンス」－「詳細設定」－「使用分類」をクリックします。



3. 上部のプルダウンメニューより「階層分類」を選択します。

【分類単位の名称を変更したい場合】

変更したい分類をクリックして、下部のテキストボックスに分類名称を入力して「登録」をクリックします。

【不要な分類単位を未使用にしたい場合】

未使用にする分類Noをクリックして、プルダウンメニューで「未使用」を選択して「登録」をクリックします。

登録後は商品分類のメンテナンス画面に反映します。